

説明資料

# 第85期 2020年3月期 第2四半期決算

2019年10月31日



三和ホールディングス株式会社  
[www.sanwa-hldgs.co.jp](http://www.sanwa-hldgs.co.jp)

■ はじめに		
1. 台風被害および 鈴木シャッター買収について	・・・4	
2. 第三次中期経営計画の進捗と 最近の業績推移	・・・5	
3. 外部環境（日本・米国・欧州）	・・・6	
■ 2020年3月期 第2四半期（実績）		
4. 決算ハイライト	・・・8	
5. 売上・営業利益実績（セクター別）	・・・9	
■ 2020年3月期 通期（予想）		
6. 通期予想ハイライト	・・・11	
7. 売上・営業利益予想（セクター別）	・・・12	
■ 第三次中期経営計画の進捗		
8. 基本戦略の進捗①～⑤	・・・14	
9. 財務ハイライト	・・・21	
◆ 参考資料		
1. セクター別連結業績の概要	・・・23	
2. 各地域(日・米・欧)の主要商品売上動向	・・・24	
3. 日本：製品別受注高・売上高 (三和シャッター工業)	・・・25	
4. 米州：製品別売上高(ODC)	・・・26	
5. 欧州：製品別売上高(NF)	・・・27	
6. 主要経営指標	・・・28	
7. 設備投資額と減価償却費	・・・29	
8. トピックス	・・・30	

## 「予想」に関する注意

当資料に記載されている内容は、様々な前提に基づいたものであり、記載された業績予想、各施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

# はじめに

2020年3月期 第2四半期（実績）

2020年3月期 通期（予想）

第三次中期経営計画の進捗

# 1. 台風被害および鈴木シャッター買収について



## 台風など自然災害について

このたびの台風15号および19号など自然災害により、お亡くなりになられた方々、ご遺族の方々にお悔やみを申し上げるとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧と皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

現在三和グループにおいては、当社製品の点検・修理対応を全社をあげて対応しておりますが、相次ぐ災害発生により対応が追いついておらず、お客様にはご迷惑をおかけしております。大変申し訳ございませんが、もうしばらくお待ちいただきますようお願い申し上げます。

なお、当社グループ施設の被害状況としては、一部営業所において浸水被害等がありましたが、生産設備等への被害はなく、台風を起因とした生産供給の遅延は現状発生しておりません。

## 鈴木シャッター買収について

2019年9月30日に買収を完了


当社グループの地域密着の販売網と鈴木シャッターの創業116年の歴史で培われた厚い顧客基盤を融合することで、大きなシナジー創出が期待でき、国内事業のさらなる成長を目指すことができます。

### ■ 今期当社業績予想に与える影響

本件株式取得により10月より連結対象となりますが、業績への影響については現在精査中であり、開示の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

したがって、本資料などで開示している当年度予想数値には、鈴木シャッター業績予想数値は含んでおりません。

### 【会社概要(国内)】

商号	 株式会社鈴木シャッター
所在地	東京都豊島区南大塚1-1-4
代表者	代表取締役 山本慶一
国内実績	2018年度
売上高	12,785百万円
営業利益	1,156百万円

### 【会社概要(香港・マカオ)】

香港	Suzuki Shutter (HK) Limited (鈴木鐵閘(香港)有限公司)
マカオ	Suzuki Shutter (Macau) Company Limited (鈴木鐵閘(澳門)有限公司)
代表者	Managing Director 国広晶紀 (三和シャッター香港総経理が兼務)

※鈴木シャッター（日本）は国内事業、香港・マカオについては、中国事業に編入

## 2. 第三次中期経営計画の進捗と最近の業績推移



### 第三次中期経営計画(2019~2020年度)の進捗

**新中計のスタートは順調な滑り出しとなり、  
連結売上・各利益とも過去最高となった**

国内：大型物件の進捗により、大幅増収・増益

北米：天候不順や関税が影響し、売上が減速

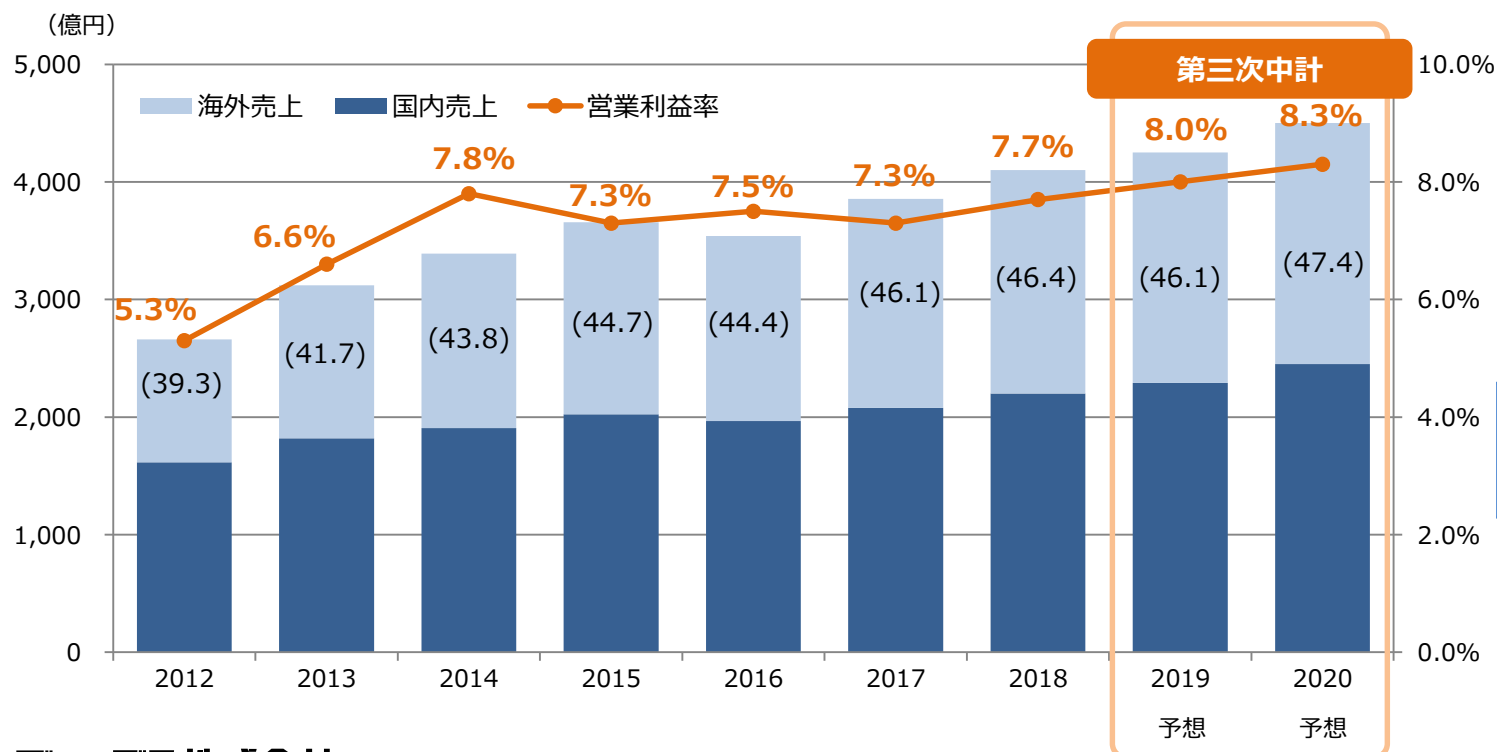
欧州：産業用ドア事業が牽引し、好調を維持

中国・アジア：4社連結し、早期にグループ業績貢献へ

	2019年度予想	2020年度目標
売上高	4,250億円	4,500億円
営業利益	340億円	375億円
営業利益率	8.0%	8.3%
SVA	137億円	(注1) 159億円
ROE	13.5%	(注2) 14.1%

(注1) 加重平均資本コスト(WACC)は6%、  
税率33%で計算

(注2) 株主資本コストは8%を目処



為替レート	2018	2019・20 (予想)
1ドル	110.36	105.00
1ユーロ	130.01	120.00

( )は海外売上高比率を示す

# 3. 外部環境

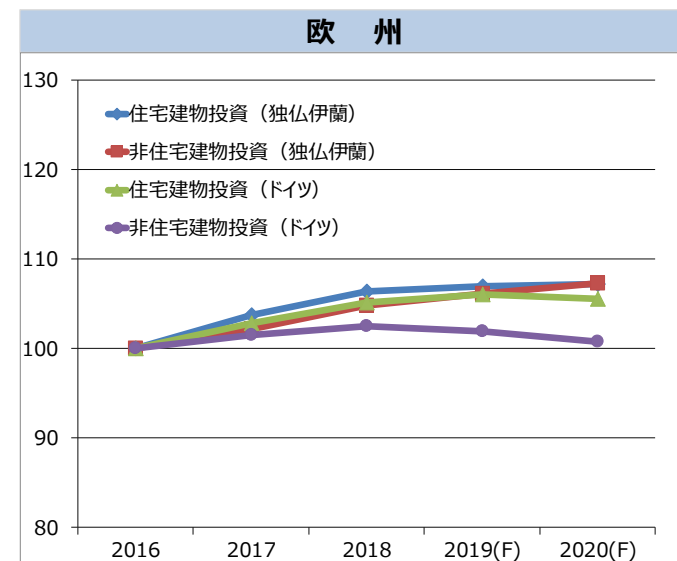
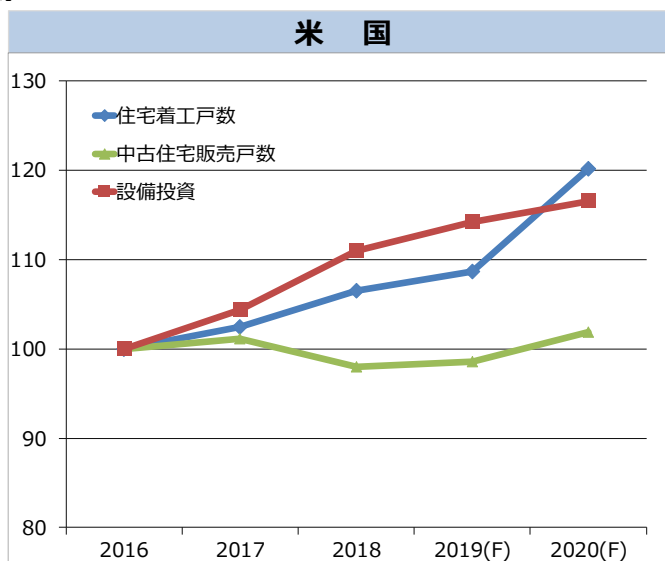
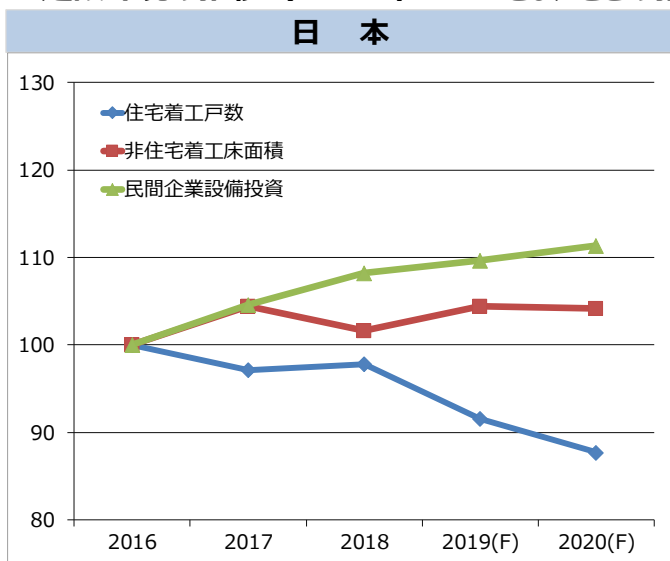


## ■ 建設環境

			2016		2017		2018		2019				2020	
									修正予想	期初予想	予想	予想		
日本	住宅着工戸数	千戸	974	5.8%	946	-2.8%	953	0.7%	892	-6.4%	925	-2.9%	855	-4.2%
	非住宅着工床面積	千㎡	45,299	2.7%	47,293	4.4%	46,037	-2.7%	47,300	2.7%	46,037	0.0%	47,200	-0.2%
	民間企業設備投資	10億円	80,751	-0.5%	84,430	4.6%	87,395	3.5%	88,531	1.3%	89,230	2.1%	89,948	1.6%
米国	住宅着工戸数	千戸	1,174	5.6%	1,203	2.5%	1,250	3.9%	1,275	2.0%	1,250	0.0%	1,410	10.6%
	中古住宅販売戸数	千戸	5,450	3.8%	5,510	1.1%	5,340	-3.1%	5,370	0.6%	5,300	-0.7%	5,550	3.4%
	設備投資	10億ドル	2,425	0.7%	2,531	4.4%	2,692	6.4%	2,770	2.9%	2,822	4.8%	2,826	2.0%
欧州	住宅建物投資（独仏伊蘭）	百万ユーロ	403,096	4.3%	418,125	3.7%	428,705	2.5%	431,228	0.6%	415,739	-3.0%	432,196	0.2%
	非住宅建物投資（独仏伊蘭）	百万ユーロ	222,003	1.3%	226,757	2.1%	232,653	2.6%	235,536	1.2%	228,729	-1.7%	238,089	1.1%
ドイツ	住宅建物投資	百万ユーロ	189,698	3.9%	195,015	2.8%	199,440	2.3%	201,171	0.9%	188,741	-5.4%	200,165	-0.5%
	非住宅建物投資	百万ユーロ	87,752	0.3%	89,101	1.5%	89,954	1.0%	89,413	-0.6%	85,097	-5.4%	88,433	-1.1%

出典：（日）国土交通省2019.04、内閣府2019.09、建設経済研究所2019.09、（米）商務省2019.09、National Association of Realtors2019.10  
 日米の2019-20設備投資予想はニッセイ基礎研究所2019.09、（欧）Euroconstruct2019.06 ※日本は年度ベース（4-3月）、米欧は暦年ベース（1-12月）

## ■ 建設環境の推移（2016年=100としたときの指数）



はじめに

**2020年3月期 第2四半期（実績）**

2020年3月期 通期（予想）

第三次中期経営計画の進捗

# 4. 2020年3月期 第2四半期 決算ハイライト



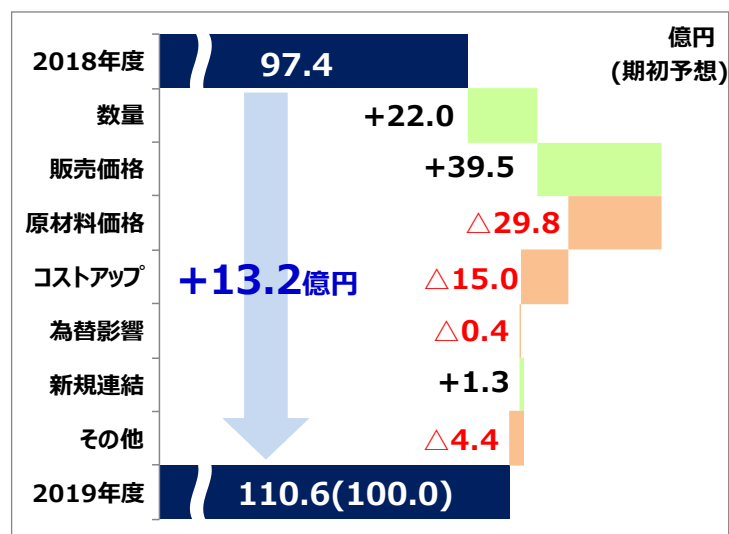
(億円、%)

《上期連結実績》	上期実績	予想	予想比(額)	前年実績	前年比(額)	(率)
売上高	1,992 [2,004]	1,900	+92 (+104)	1,839	+153 [+165]	+8.3 [+8.9]
営業利益	110.6 [111.0]	100.0	+10.6 (+11.0)	97.4	+13.2 [+13.6]	+13.6 [+13.9]
経常利益	107.9 [108.2]	96.0	+11.9 (+12.2)	92.5	+15.4 [+15.7]	+16.6 [+17.0]
親会社株主に帰属 する当期純利益	69.5 [69.7]	61.0	+8.5 (+8.7)	59.3	+10.2 [+10.4]	+17.1 [+17.4]

為替レート	2018上期	2019上期
1ドル	108.50	109.97
1ユーロ	130.65	124.07

【 】内は、18年度為替レート適用の数値。前年との実質対比のために表記したのも。

## 営業利益増減分析 (連結)



## 要約

売上、各利益ともに予想・前年ともにクリア

### 売上高

- ・連結では、前年・予想を上回り、1,992億円となった
- ・三和シャッター、国内子会社、NFは前年・予想を上回ったが、ODCは現地通貨ベースでは前年・予想ともに未達となった

### 営業利益

- ・連結では、前年・予想を上回り、第2四半期で初めて100億円を突破した
- ・工事費、物流費等のコストアップが影響したが、販売価格への転嫁と数量効果が貢献した

### 経常利益

- ・連結では、前年・予想を上回り、第2四半期で初めて100億円を突破した
- ・持分法会社の業績は改善基調

### 親会社株主に帰属 する当期純利益

- ・連結では、前年・予想を上回り、69.5億円を計上
- ・特別損益は△1.7億円となった



# 5. 2020年3月期 第2四半期 売上・営業利益実績 (セクター別)



## 【売上高】

## 【営業利益】

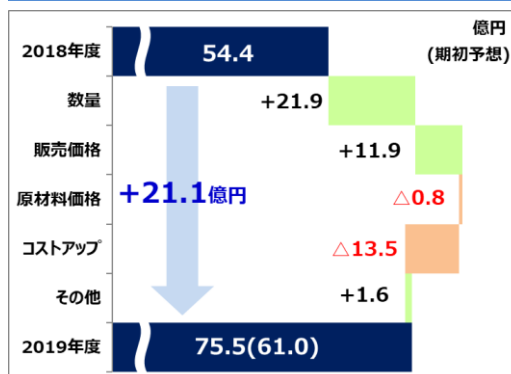
(億円、百万\$、百万€、%)

	【売上高】			【営業利益】				
	18年度 上期	19年度 上期	前年比 (率)	18年度 上期	利益率	19年度 上期	利益率	前年比 (率)
三和シャッター	832	937	+12.6	54.4	6.5	75.5	8.1	+39.0
国内子会社	150	188	+25.0	0.2	0.1	2.0	1.1	(+)
ODC (米国)	514 558	513 564	▲0.2 +1.1	32.1 34.9	6.3	24.6 27.0	4.8	▲23.6 ▲22.5
NF (欧州)	276 361	294 365	+6.5 +1.2	10.1 13.2	3.7	10.9 13.5	3.7	+7.3 +1.9
中国・アジア	-	26	-	-	-	△1.3	▲5.1	-
<b>連結</b>	<b>1,839</b>	<b>1,992</b>	<b>+8.3</b>	<b>97.4</b>	<b>5.3</b>	<b>110.6</b>	<b>5.6</b>	<b>+13.6</b>

※各セクターには、相殺項目があるため、合計しても連結の数値とは一致しません

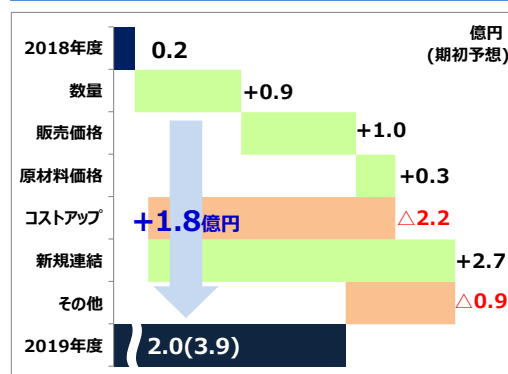
為替レート	2018上期	2019上期
1ドル	108.50	109.97
1ユーロ	130.65	124.07

### 三和シャッター



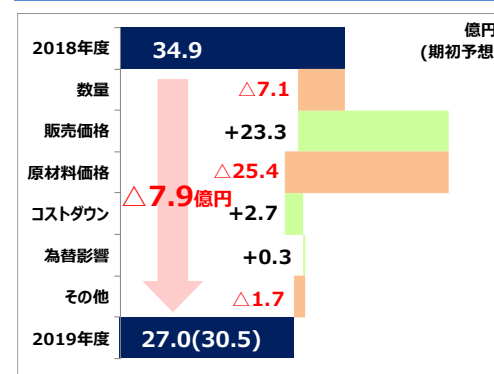
数量・販売価格効果が貢献し、コストアップは想定範囲内に収まったため、前年・予想とも大きく上回った

### 国内子会社



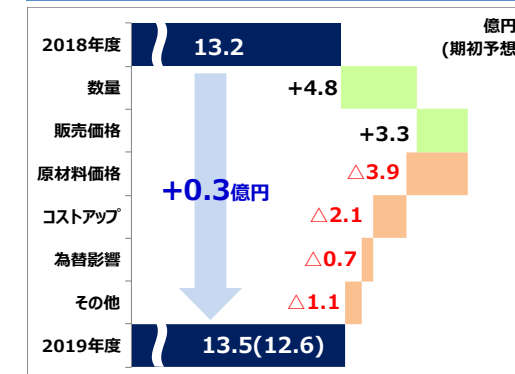
新規連結分が寄与し前年をクリアしたものの、予想には届かず

### ODC



材料費上昇分は販売価格に転嫁できたが、数量が伸びず、前年・予想ともに未達

### ノボフェルム



数量、販売価格効果により前年・予想を上回った

はじめに

2020年3月期 第2四半期（実績）

**2020年3月期 通期（予想）**

第三次中期経営計画の進捗

# 6. 2020年3月期 通期予想ハイライト



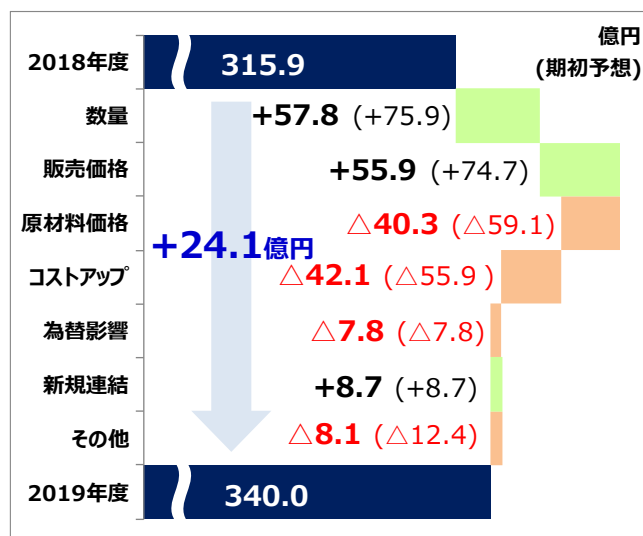
《通期連結予想》 (億円、%)

	通期予想	期初予想	予想比(額)	前年実績	前年比(額)	(率)
売上高	4,250 【4,369】	4,250 【4,369】	-	4,100	+150 【+269】	+3.7 【+6.6】
営業利益	340.0 【347.8】	340.0 【347.8】	-	315.9	+24.1 【+31.9】	+7.6 【+10.1】
経常利益	330.0 【337.4】	330.0 【337.4】	-	304.4	+25.6 【+33.0】	+8.4 【+10.8】
親会社株主に帰属 する当期純利益	220.0 【225.4】	220.0 【225.4】	-	209.1	+10.9 【+16.3】	+5.2 【+7.8】

為替レート	2018	2019予想
1ドル	110.36	105.00
1ユーロ	130.01	120.00

【 】内は、18年度為替レート適用の数値。前年との実質対比のために表記したもの。

## 営業利益増減分析 (連結)



要約	売上、各利益とも期初予想を据え置く
売上高	<ul style="list-style-type: none"> <li>日・米・欧とも拡大基調が継続し、増収を見込む</li> <li>新規連結となる国内子会社(4社)および中国・アジア(4社)の売上は内部相殺後で約88億円の見込み</li> </ul>
営業利益	<ul style="list-style-type: none"> <li>数量増と販売価格効果を大きく見込み、原材料およびその他コスト上昇を吸収し増益を見込む</li> <li>新規連結効果は約8.7億円の予想</li> </ul>
経常利益	<ul style="list-style-type: none"> <li>営業増益に加えて、持分法投資損益の改善により+25.6億円の増益を見込む</li> </ul>
親会社株主に帰属 する当期純利益	<ul style="list-style-type: none"> <li>経常増益に加えて、特損予想が約5億円と昨年から1.1億円減少することなどもあり+10.9億円の増益を見込む</li> </ul>

# 7. 2020年3月期 通期 売上・営業利益予想 (セクター別)

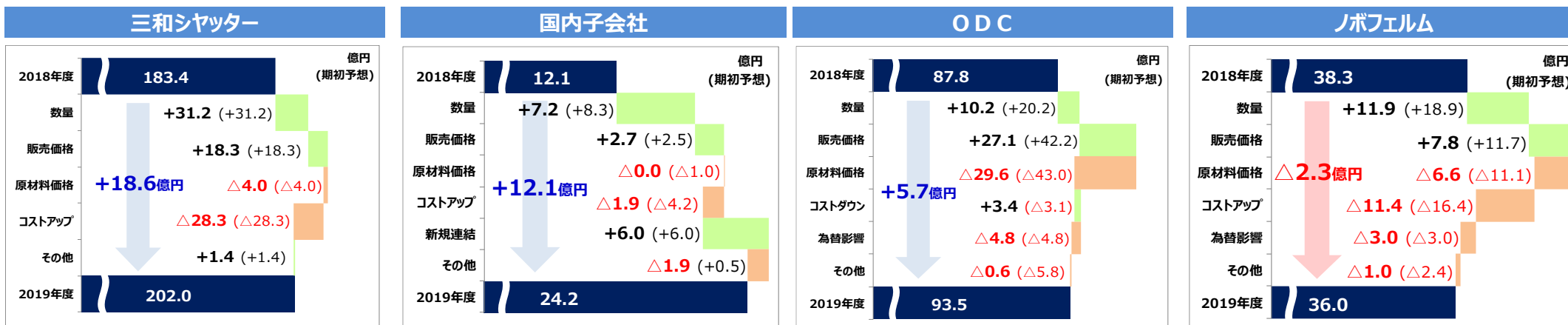


	【売上高】			【営業利益】				
	18年度	19年度	前年比(率)	18年度	利益率	19年度	利益率	前年比(率)
三和シャッター	1,986	2,080	+4.7	183.4	9.2	202.0	9.7	+10.1
国内子会社	354	435	+22.9	12.1	3.4	24.2	5.6	+98.9
ODC(米国)	1,057 1,166	1,132 1,189	+7.1 +1.9	79.6 87.8	7.5	89.0 93.5	7.9	+11.9 +6.4
NF(欧州)	565 735	585 702	+3.5 ▲4.4	29.5 38.3	5.2	30.0 36.0	5.1	+1.7 ▲6.1
中国/アジア	-	70	-	-	-	2.7	3.8	-
<b>連結</b>	<b>4,100</b>	<b>4,250</b>	<b>+3.7</b>	<b>315.9</b>	<b>7.7</b>	<b>340.0</b>	<b>8.0</b>	<b>+7.6</b>

- 2019年度新規連結
  - 国内子会社：4社  
昭和建産、田島メタルワーク、三和電装エンジニアリング、林工業
  - 中国/アジア：4社  
宝産三和、安和金属、三和香港、ビナサンワ

為替レート	2018	2019予想
1ドル	110.36	105.00
1ユーロ	130.01	120.00

※各セクターには、相殺項目があるため、合計しても連結の数値とは一致しません



数量および販売価格効果は予想通りに改善し、コストもコントロールできているため、期初予想通りに増益の見込み

数量効果と新規連結効果が大きく、大幅増益予想

材料費アップ分は販売価格へ転嫁見込みであり、数量効果は期初より減少するものの、コスト削減に取組み増益を見込む

数量効果が大きいですが、コストアップや為替要因により円ベースでは減益予想、現地通貨ベースでは増益予想

はじめに

2020年3月期 第2四半期（実績）

2020年3月期 通期（予想）

**第三次中期経営計画の進捗**

# 8. 基本戦略①：コアビジネスの事業領域拡大と強化（日本）



## 1. 各事業分野でのポジション確立による、動く建材企業としての成長

### 基幹(既存)事業

#### ◆シャッター、ドアの収益性確保

- 取付工事、物流コストなどを販売価格へ転嫁するための売価アップ
- 新規商流・ルート開拓促進など顧客開拓による取引顧客数の増大
- 戦略商品との一括受注促進による既存顧客の取引量拡大
- 顧客満足向上によるシェアの維持向上

### 成長事業

#### ◆間仕切、エントランス、防水などグループ連携による拡大

- 受注に直結する川上営業、商品力強化（スチールパーティションなど）
- 国内グループ連携による折込戦略の推進（学校間仕切など）
- 成長事業拡大に向けた体制強化（人員確保、専従体制など）

### メンテ・サービス事業

#### ◆点検法制化の受注拡大と災害復旧対応

- 法定検査関連の受注拡大に向け、検査未実施物件および新規物件へのカバー率向上
- 追求管理のシステム化などメンテ事業拡大に対応した盤石なインフラ体制強化
- 台風など災害復旧に全社をあげて対応

## 2. 事業拡大に向けた体制の強化



### 供給体制の強化

#### ◆繁忙期での生産、物流、施工力確保

- 重量シャッター生産平準化：納期集中を予測しながら、各工場への生産移管
- スチールドア供給力強化：協力会社を含めたSDの供給能力を確保、部材の一部内製化、生産時期の前倒しなどを推進
- 物流能力：納期情報精度向上および物流管理システムを順次導入
- 施工力強化：新規採用増加策、OJT研修および戦略商品多能工化の推進、車両・工具などの初期投資負担軽減策導入



## 8. 基本戦略①：コアビジネスの事業領域拡大と強化（米国）



ODC：コア事業の維持・拡大と共に、周辺事業分野への参入



### ドア事業

- ◆住宅用Retrofit(改築向け)の強化
  - ・開閉機とのセット販売による拡販
  - ・大手量販店との提携や不動産業者向け紹介プログラム
- ◆商業(非住宅)用ドアの拡大
  - ・戦略的価格によるシェアアップ
  - ・代理店、販売店を追加



### IoT(Wi-Fi接続)商品の拡充

- ・プロ向けNGXの発売
- ・ビルダー向けWi-Fi接続商品の開発やスマートホーム



### メキシコへ開閉機製造を完全移行

- ・Matamoros工場を拡張し、開閉機生産の集約化

## 8. 基本戦略①：コアビジネスの事業領域拡大と強化（欧州）



### N F：産業用製品のさらなる強化と、NF4.0によるデジタル化推進



#### 産業用製品事業

- ・アルファ社(オランダ)工場の拡張が終了し、旺盛な需要へ対応
- ・大型物件の順調な獲得など、フランスにおけるシェアアップを実現
- ・ドックレバラー事業は引き続き堅調に推移



#### ヒンジドア事業

- ・英国、スカンジナビアへの本格進出のためRobust社買収し、早期に統合効果発現
- ・フランスなどでの欧州統一耐火基準製品の拡充



#### ガレージドア事業

- ・フランスにおける競争激化の中、DIYビジネスの拡大およびディーラー網の拡充
- ・イギリスでの販売部門強化及び新支店開設



#### NF4.0によるデジタル化の推進

- ・販売：ドイツ以外へも展開を開始
- ・製造、物流関連：デジタル化ツール活用による業務効率改善



# 8. 基本戦略②：サービス分野の強化とビジネスモデルの拡大

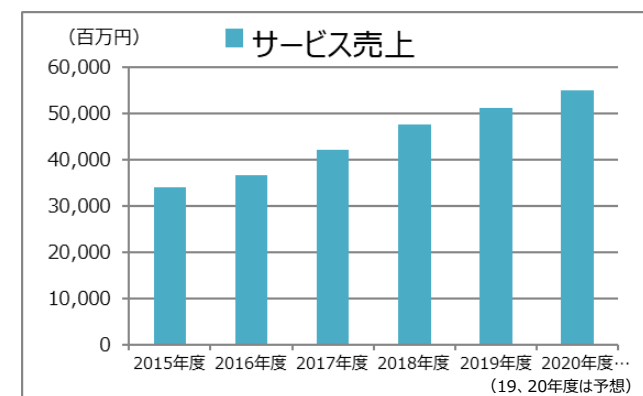


## サービス事業

各地域において、顧客ニーズに合わせたサービス事業を提供  
新たな顧客開拓やビジネスモデルを拡大

	2018年度	2019年度 (予想)	2020年度 (目標)
サービス売上 (連結)	476億円	510億円	550億円

国内事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 迅速な災害復旧対応</li> <li>■ 顧客の増大と法定検査受注拡大</li> <li>■ 事業拡大に応じた盤石なインフラ体制の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 全国ネットワークの強みを生かした復旧活動</li> <li>■ 過去実施検査物件の契約更新による獲得シェアの維持</li> <li>■ 新物件の増大によるカバー率の向上</li> <li>■ Eコネク、バッテリー交換、経年劣化対策案を合わせた提案営業の強化</li> <li>■ 物件追求管理のシステム化による業務効率化</li> </ul>
ODC	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 直販部門の事業拡大</li> <li>■ フィールドサービスシステム導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 直販部門をドア部門傘下として再建</li> <li>■ 定期点検等サービス受注拡大と施工能力底上げ</li> <li>■ フィールドサービスシステム導入検討</li> </ul>
NF	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 産業用ドア事業を中心に事業拡大</li> <li>■ フィールドサービスシステム導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ BGSとホートンUKのサービス事業を統合</li> <li>■ フィールドサービスシステム導入は英国で導入済、大陸側は順次導入予定</li> </ul>



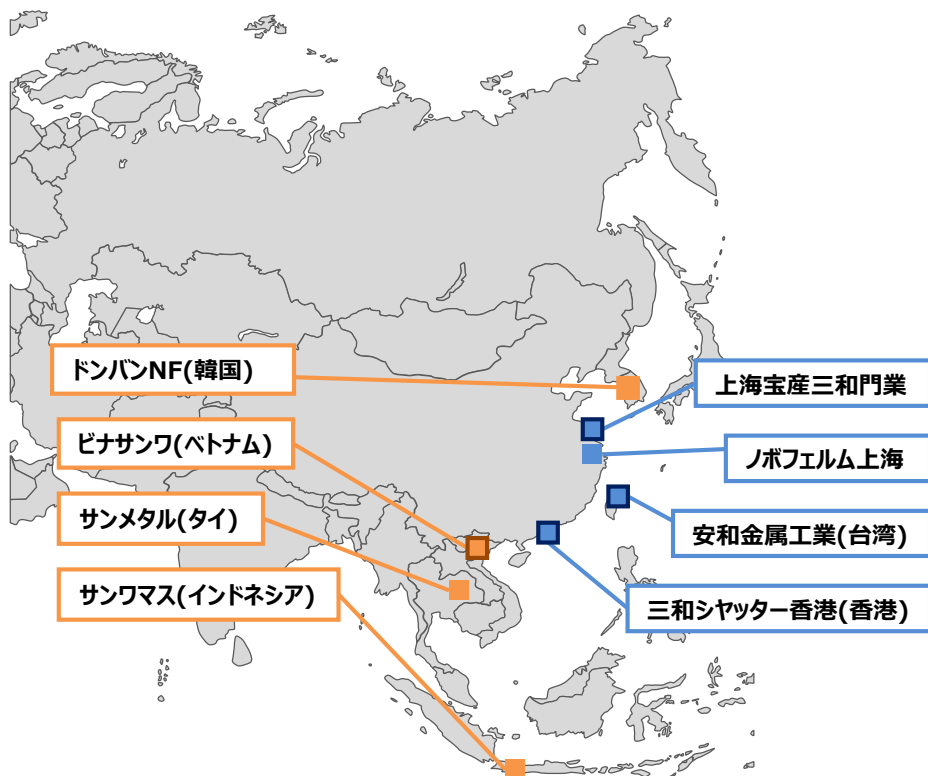
# 8. 基本戦略③：中国・アジア事業の基盤拡充



## 中国・アジア

## グループ各社の一体運営強化および連結対象事業の拡大

2019年度から中国事業（宝産三和、安和金属、三和香港）  
アジア事業（ビナサンフ）を連結化



■ 中国事業（青色）・アジア事業（オレンジ）の連結対象

(億円)

2019年度	売上		営業利益	
	上期実績	通期予想	上期実績	通期予想
連結計	26	70	△1.3	2.7

### ■ 業績進捗

2019年度より4社連結対象としたが、上期実績は低調  
通期予想は、手持ち物件の売上が進み、またコストダウンに注力し、  
連結業績に貢献する見込み

### 中国事業

- 華東地区
  - ・NF上海再構築は、新防火ドア、代理店網構築など順調に進展
  - ・ドックレベラー内作開始により産業用ドア受注拡大
- 華南地区
  - ・三和香港と鈴木香港（マカオ）の統合シナジー追求
- 台湾事業
  - ・既存工場拡張も含めた製造拠点最適化の検討

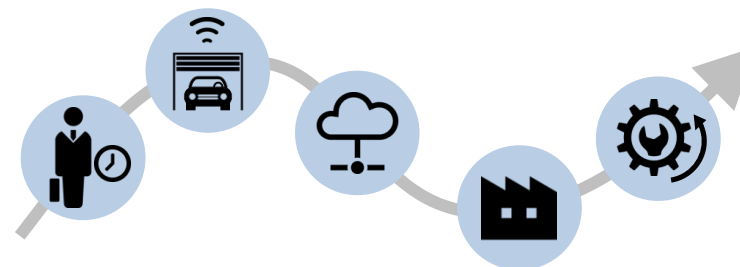
### アジア事業

- ・ビナサンフは、営業および施工体制を再構築
- ・サンワマス（インドネシア）の新規設備導入および代理店ネットワークの構築
- ・ドンバンNF（韓国）は新工場に移転し稼働

## 8. 基本戦略④：働き方改革と生産性向上



営業・設計・製造・施工・メンテ・管理の全てのプロセスで、  
AI、IoTなど最新の情報システムの活用による業務効率化、  
働き方改革などにより生産性を改善



### 日本

- 国内グループ会社の事業最適化（システム連携など）  
…CADシステム、基幹システムの連携推進  
…工場繁忙期の生産分散化
- 製造・施工など部門横断的な省力化に向けた商品開発  
…スムードセット搬入、SD火無し工法など
- 製造体制強化による生産性改善  
…工場供給力強化と品質向上  
…SD生産能力増大による供給体制の確保
- 事業環境整備による生産性の改善  
…テレビ会議システムを刷新し、タイムリーな情報共有、移動時間、  
交通費などの効率化を推進
- 働き方改革による長時間労働是正、業務効率化推進  
…テレワークの導入など



### ODC

- ERP導入による業務革新の実現
- フィールドサービスシステム導入による生産性向上
- ASD（ドア部門）：生産自動化促進による生産能力・品質改善
- 自動ドア：生産性・品質改善

### NF

- NF4.0（デジタル化）による業務プロセス改革
- 英国事業の集約（BGS、NFUK）Robust社とのシナジー構築
- ドックレバラーの生産供給体制の最適化
- 継続的な産業用ドア工場の生産能力強化

### 中国・アジア


- 三和上海（管理会社）による上海2社（宝産三和・NF上海）の  
管理業務集約
- 各エリアごとの生産供給体制の再構築

# 8. 基本戦略⑤ ESGを推進し、社会からより信頼される企業体質へ




ESG重要課題（マテリアリティ）に対して各部門が連携して推進することで、『二つの信用』を高め、将来にわたる持続的成長と価値創造へつなげていく

**ハラスメント研修の実施（日本）**  
 ハラスメントの撲滅、職場風土の改善を目的として、外部講師によるハラスメント研修を実施。  
 2019年4月～10月にかけて、社長、経営幹部から全所課長まで合計約770名が受講した。



**防火設備定期検査技能コンテストの実施(三和シャッター)**  
 2019年5月、保守点検・修理技術の向上を目的に、「防火設備定期検査技能コンテスト」を開催。  
 全国から集まった12チーム計24名が技術を競った。




**高速断熱シートシャッター“Rapid Freeze997” 発売（ODC）**  
 2019年9月、ODCが冷蔵・冷凍施設向け高速断熱シートシャッターを発売。  
 優れた断熱性能と高速開閉で熱損失を防ぎ、省エネに貢献。



**内部通報制度の拡充(中国・アジア)**  
 2019年7月より、内部通報制度(企業倫理ホットライン)を中国・アジアの海外子会社に拡大。  
 英語・中国語・ベトナム語・タイ語に対応したポスター、カードを配布し、周知を図っている。



# 9. 財務ハイライト



## 株主還元

### ■ 配当

- ・2019年度配当見通し  
2円増配の年間34円予想（上期17円、下期17円予想）  
※配当性向35%を目安

### ■ 自社株取得

- ・2019年7月31日に600万株上限を上限とする自己株取得を公表（割合 2.67%）  
株式の取得額 : 50億円（上限）  
取得する期間 : 2019年8月1日～2019年11月29日  
※自社株取得については、戦略投資を優先するため、キャッシュポジションを考慮しながら機動的に実施

## 資金調達

### ■ 公募社債

- ・第14回無担保社債を発行  
発行額 100億円  
発行日 2019年10月25日  
償還日 2029年10月25日（10年債）  
利率 0.290%  
使途 有利子負債償還資金等

## 特損について

(百万円)

項目	18年度実績	19年度	
		上期実績	通期予想
固定資産処分損、売却損	84	23	23
事業再構築費用	181	180	477
関係会社整理損	21	0	—
その他	323	1	—
特別損失合計	609	204	500

## ◆ 參考資料



# 参考資料1. セクター別連結業績の概要



(百万円、%)

	2018年度								2019年度							
	上期		下期		通期		期初予想	上期		下期(予想)		通期(予想)				
	利益率	増減率	利益率	増減率	利益率	増減率		利益率	増減率	利益率	増減率	利益率	増減率			
売上高	183,911	(6.2)	226,079	(6.4)	409,990	(6.3)	190,000	199,167	(8.3)	225,832	(Δ0.1)	425,000	425,000	(3.7)		
[前年為替適用]							[200,350]	[8.9]	[236,573]	(4.6)	[436,923]	[6.6]				
三和シャッター工業	83,205	(3.3)	115,364	(7.9)	198,569	(6.0)	88,000	93,661	(12.6)	114,338	(Δ0.9)	208,000	208,000	(4.7)		
その他国内子会社	15,019	(5.4)	20,368	(11.8)	35,388	(9.0)	18,639	18,774	(25.0)	24,727	(21.4)	43,502	43,502	(22.9)		
ODC(米国)	55,763	(4.8)	60,843	(2.1)	116,607	(3.4)	56,595	56,387	(1.1)	62,472	(2.7)	118,860	118,860	(1.9)		
ノボフェルム(欧州)	36,099	(19.0)	37,365	(7.9)	73,464	(13.1)	34,200	36,517	(1.2)	33,682	(Δ9.9)	70,200	70,200	(Δ4.4)		
中国・アジア							2,463	2,624		4,376		7,001	7,001			
営業利益	9,741	5.3 (7.7)	21,851	9.7 (13.4)	31,593	7.7 (11.5)	10,000	11,064	5.6 (13.6)	22,935	10.2 (5.0)	34,000	34,000	8.0 (7.6)		
[前年為替適用]							[11,099]	[13.9]	[23,677]	(8.4)	[34,777]	[10.1]				
三和シャッター工業	5,435	6.5 (Δ3.2)	12,903	11.2 (12.3)	18,339	9.2 (7.2)	6,100	7,553	8.1 (39.0)	12,646	11.1 (Δ2.0)	20,200	20,200	9.7 (10.1)		
その他国内子会社	18	0.1 (Δ90.6)	1,195	5.9 (23.8)	1,214	3.4 (4.6)	393	203	1.1 (1,007.0)	2,211	8.9 (84.9)	2,415	2,415	5.6 (98.9)		
ODC(米国)	3,485	6.3 (12.5)	5,295	8.7 (Δ6.8)	8,780	7.5 (0.0)	3,045	2,700	4.8 (Δ22.5)	6,644	10.6 (25.5)	9,345	9,345	7.9 (6.4)		
ノボフェルム(欧州)	1,324	3.7 (43.1)	2,510	6.7 (28.0)	3,834	5.2 (32.9)	1,260	1,349	3.7 (1.9)	2,250	6.7 (Δ10.4)	3,600	3,600	5.1 (Δ6.1)		
中国・アジア							Δ39	Δ132	Δ5.1	402	9.2	269	269	3.8		
経常利益	9,248	5.0 (5.1)	21,188	9.4 (10.9)	30,437	7.4 (9.1)	9,600	10,786	5.4 (16.6)	22,213	9.8 (4.8)	33,000	33,000	7.8 (8.4)		
[前年為替適用]							[10,824]	[17.0]	[22,911]	(8.1)	[33,735]	[10.8]				
三和シャッター工業	5,573	6.7 (Δ2.3)	13,006	11.3 (12.3)	18,579	9.4 (7.5)	6,200	7,662	8.2 (37.5)	12,737	11.1 (Δ2.1)	20,400	20,400	9.8 (9.8)		
その他国内子会社	61	0.4 (Δ72.2)	1,221	6.0 (22.2)	1,282	3.6 (5.2)	416	250	1.3 (308.9)	2,210	8.9 (81.0)	2,461	2,461	5.7 (91.9)		
ODC(米国)	3,267	5.9 (11.3)	4,927	8.1 (Δ10.5)	8,195	7.0 (Δ2.9)	2,730	2,335	4.1 (Δ28.5)	6,379	10.2 (29.5)	8,715	8,715	7.3 (6.3)		
ノボフェルム(欧州)	1,249	3.5 (52.3)	2,426	6.5 (30.3)	3,675	5.0 (37.0)	1,200	1,302	3.6 (4.3)	2,177	6.5 (Δ10.2)	3,480	3,480	5.0 (Δ5.3)		
中国・アジア							Δ57	Δ140	Δ5.4	369	8.4	228	228	3.3		
持分法適用会社投資損益	Δ352	(-)	Δ246	(-)	Δ599	(-)	Δ101	Δ38	(+)	Δ205	(+)	Δ244	Δ244	(+)		
親会社株主に帰属する当期純利益	5,933	3.2 (3.6)	14,977	6.6 (19.3)	20,910	5.1 (14.4)	6,100	6,945	3.5 (17.1)	15,054	6.7 (0.5)	22,000	22,000	5.2 (5.2)		
[前年為替適用]							[6,966]	[17.4]	[15,571]	(4.0)	[22,538]	[7.8]				
三和シャッター工業	3,682	4.4 (Δ3.1)	9,107	7.9 (12.9)	12,790	6.4 (7.8)	4,100	5,095	5.4 (38.4)	8,904	7.8 (Δ2.2)	14,000	14,000	6.7 (9.5)		
その他国内子会社	Δ9	Δ0.1 (-)	822	4.0 (28.0)	813	2.3 (3.9)	180	125	0.7 (+)	1,373	5.6 (67.0)	1,499	1,499	3.4 (84.3)		
ODC(米国)	2,331	4.2 (23.4)	2,294	3.8 (Δ28.0)	4,626	4.0 (Δ8.9)	1,995	1,713	3.0 (Δ26.5)	4,901	7.8 (113.6)	6,615	6,615	5.6 (43.0)		
ノボフェルム(欧州)	854	2.4 (9.3)	1,713	4.6 (31.6)	2,568	3.5 (23.2)	744	832	2.3 (Δ2.6)	1,567	4.7 (Δ8.5)	2,400	2,400	3.4 (Δ6.5)		
中国・アジア							Δ57	Δ140	Δ5.4	343	7.8	202	202	2.9		
持分法適用会社投資損益	Δ352	(-)	Δ246	(-)	Δ599	(-)	Δ101	Δ38	(+)	Δ205	(+)	Δ244	Δ244	(+)		

<欧米現地通貨>

(千ドル、千ユーロ)

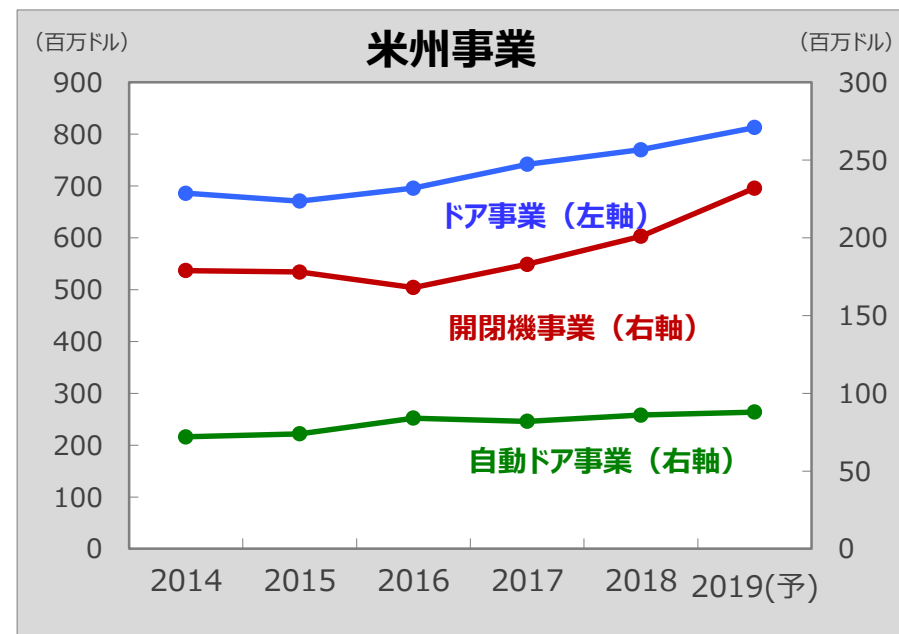
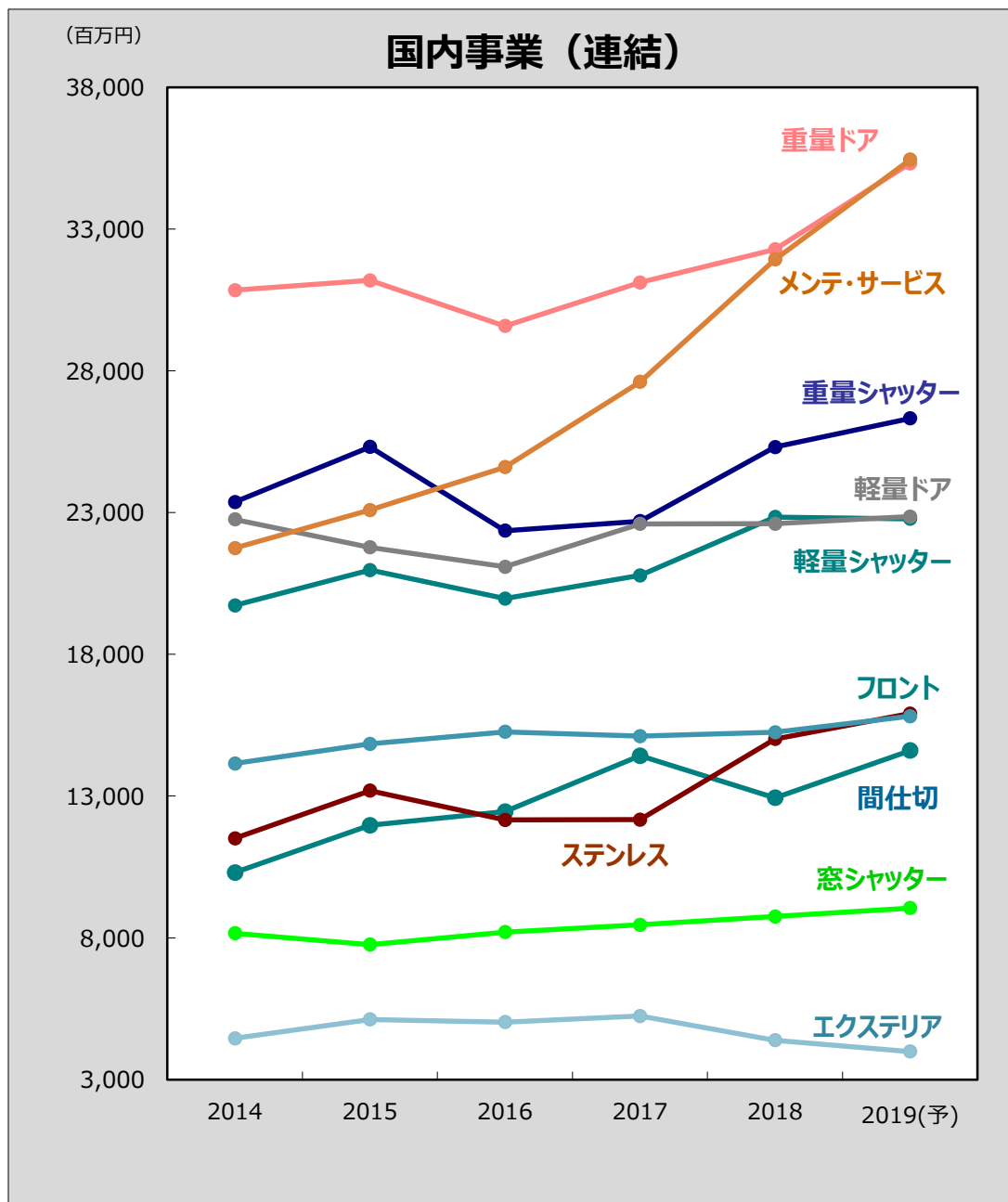
	2018年度								2019年度							
	上期		下期		通期		期初予想	上期		下期(予想)		通期(予想)				
	利益率	増減率	利益率	増減率	利益率	増減率		利益率	増減率	利益率	増減率	利益率	増減率			
売上																
ODC(米国)	\$513,951	(8.3)	\$542,654	(1.9)	\$1,056,605	(4.9)	\$539,000	\$512,755	(Δ0.2)	\$619,244	(14.1)	\$1,132,000	\$1,132,000	(7.1)		
ノボフェルム(欧州)	€276,304	(11.3)	€288,765	(10.0)	€565,069	(10.7)	€285,000	€294,332	(6.5)	€290,667	(0.7)	€585,000	€585,000	(3.5)		
営業																
ODC(米国)	\$32,123	6.3 (16.3)	\$47,439	8.7 (Δ6.5)	\$79,563	7.5 (1.6)	\$29,000	\$24,553	4.8 (Δ23.6)	\$64,446	10.4 (35.8)	\$89,000	\$89,000	7.9 (11.9)		
ノボフェルム(欧州)	€10,136	3.7 (33.9)	€19,358	6.7 (28.1)	€29,495	5.2 (30.0)	€10,500	€10,878	3.7 (7.3)	€19,121	6.6 (Δ1.2)	€30,000	€30,000	5.1 (1.7)		

- 2019年度の [ ] 内は、前年の為替換算レートを適用した場合の数値を示す。
- 数値は切り捨て。( ) 内は前年同期増減率、(+) は前年比増加、(-) は前年比減少。
- 在外子会社等にかかる為替換算レートは期中平均レートを使用。
- 三和ホールディングス及び連結相殺が表示されていないため、合計とは一致しない。
- 2019年の下期(予想)は、通期(予想)から上期を差し引いた数値で示す。

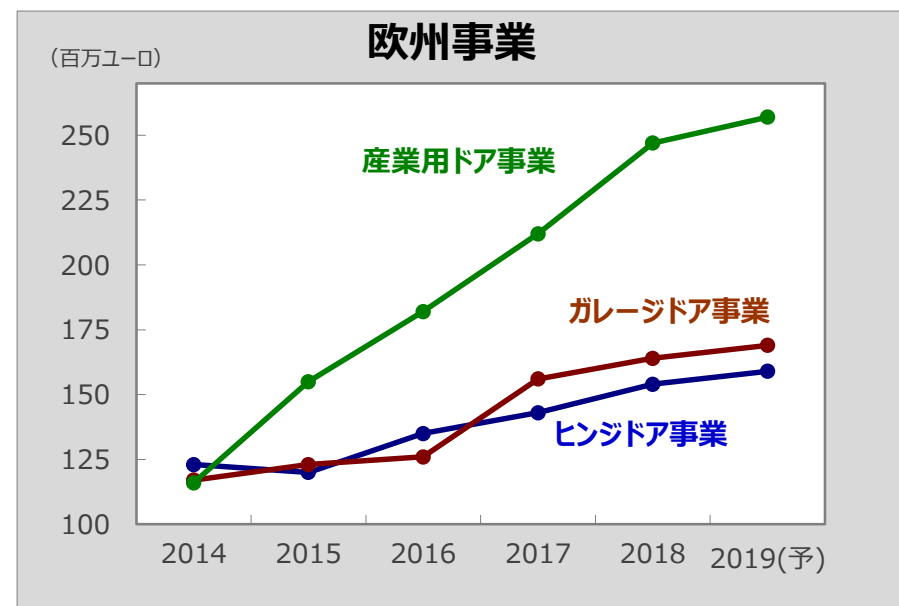
- 2019年度より「その他国内子会社」に4社、「中国アジア」に4社新たに連結。  
国内…昭和建産、田島メタルワーク、林工業、三和電装エンジニアリング  
中国・アジア…宝産三和、安和金属工業、三和シャッター香港、ピナサンワ

為替レート	2018年度		2019年度	
	上期	通期	上期	通期(予想)
USDドル	108.50	110.36	109.97	105.00
ユーロ	130.65	130.01	124.07	120.00

# 参考資料2. 各地域（日・米・欧）の主要商品売上動向



従来の施工サービス部門・車両ドア部門はドア事業に含めて表示





# 参考資料3. 日本：製品別受注高・売上高（三和シャッター工業）



(百万円・%)

	2018年度										2019年度									
	上期			下期			通期				上期			下期(予想)			通期(予想)			
	受注高	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	構成比	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	構成比	売上高	構成比
軽量シャッター	(9.6)	(3.4)		(12.8)	(15.8)		(11.2)		(9.7)		(1.3)	(4.7)		(△4.4)	(△7.1)		(△1.6)		(△1.6)	
	11,256	10,456	12.6	11,718	12,319	10.7	22,974	11.6	22,775	11.5	11,400	10,949	11.7	11,199	11,450	10.0	22,600	10.7	22,400	10.8
重量シャッター	(3.8)	(2.7)		(12.6)	(19.6)		(8.1)		(12.4)		(8.5)	(15.8)		(5.4)	(△5.9)		(6.9)		(2.5)	
	11,902	9,756	11.7	12,314	15,414	13.4	24,217	12.3	25,170	12.7	12,918	11,300	12.1	12,981	14,499	12.7	25,900	12.2	25,800	12.4
O S D	(0.2)	(△5.2)		(4.8)	(11.3)		(2.5)		(3.8)		(8.4)	(9.6)		(7.6)	(△2.8)		(8.0)		(2.4)	
	2,419	2,069	2.5	2,486	2,912	2.5	4,906	2.5	4,981	2.5	2,623	2,268	2.4	2,676	2,831	2.5	5,300	2.5	5,100	2.5
シャッター関連商品	(19.4)	(13.5)		(27.9)	(12.8)		(23.8)		(13.1)		(7.5)	(24.2)		(△0.2)	(2.0)		(3.4)		(11.4)	
	6,554	5,413	6.5	7,568	7,329	6.4	14,123	7.2	12,742	6.4	7,044	6,721	7.2	7,555	7,478	6.5	14,600	6.9	14,200	6.8
ビル・マンションドア	(△11.7)	(△0.2)		(4.4)	(3.9)		(△4.2)		(2.3)		(5.5)	(12.7)		(13.3)	(1.1)		(9.5)		(5.6)	
	25,156	20,861	25.1	26,262	33,511	29.0	51,418	26.0	54,372	27.4	26,551	23,507	25.1	29,748	33,892	29.6	56,300	26.6	57,400	27.6
住宅ドア	(△1.1)	(△3.5)		(△7.6)	(△7.9)		(△4.5)		(△5.8)		(△11.8)	(△7.9)		(△24.5)	(△30.1)		(△18.2)		(△19.2)	
	2,237	2,180	2.6	2,285	2,276	2.0	4,522	2.3	4,457	2.2	1,974	2,009	2.1	1,725	1,590	1.4	3,700	1.7	3,600	1.7
窓製品	(2.4)	(△0.5)		(6.0)	(5.6)		(4.3)		(2.6)		(5.6)	(9.0)		(5.0)	(△1.2)		(5.3)		(3.6)	
	4,250	4,097	4.9	4,579	4,587	4.0	8,830	4.5	8,685	4.4	4,488	4,467	4.8	4,811	4,532	4.0	9,300	4.4	9,000	4.3
エクステリア製品	(△17.1)	(△12.0)		(△17.7)	(△19.3)		(△17.4)		(△15.8)		(△3.9)	(△7.8)		(10.1)	(△8.5)		(2.9)		(△8.1)	
	2,052	2,134	2.6	1,931	2,109	1.8	3,983	2.0	4,244	2.1	1,973	1,968	2.1	2,126	1,931	1.7	4,100	1.9	3,900	1.9
間仕切製品	(△3.3)	(△7.8)		(14.8)	(△7.7)		(4.9)		(△7.8)		(6.1)	(21.7)		(30.7)	(14.2)		(18.2)		(17.1)	
	6,641	4,616	5.5	6,470	7,514	6.5	13,112	6.6	12,130	6.1	7,044	5,619	6.0	8,455	8,580	7.5	15,500	7.3	14,200	6.8
ステンレス製品	(35.7)	(55.9)		(10.1)	(7.1)		(22.3)		(24.4)		(△3.0)	(11.6)		(22.1)	(15.4)		(8.9)		(13.7)	
	4,990	3,904	4.7	4,468	4,888	4.2	9,459	4.8	8,792	4.4	4,842	4,359	4.7	5,457	5,640	4.9	10,300	4.9	10,000	4.8
フロント製品	(△3.8)	(16.5)		(△5.1)	(7.1)		(△4.4)		(11.1)		(△8.9)	(△30.4)		(51.3)	(△9.4)		(21.3)		(△18.8)	
	1,231	1,274	1.5	1,241	1,559	1.4	2,472	1.3	2,833	1.4	1,121	887	0.9	1,878	1,412	1.2	3,000	1.4	2,300	1.1
自動ドアエンジン	(△5.1)	(6.9)		(△7.2)	(△10.9)		(△6.1)		(△3.2)		(△0.4)	(△8.2)		(17.4)	(△0.5)		(8.4)		(△4.2)	
	1,298	1,243	1.5	1,284	1,365	1.2	2,582	1.3	2,608	1.3	1,292	1,141	1.2	1,507	1,358	1.2	2,800	1.3	2,500	1.2
メンテ・サービス	(12.4)	(10.8)		(15.7)	(19.4)		(14.2)		(15.6)		(11.5)	(14.9)		(14.2)	(9.1)		(12.9)		(11.5)	
	14,863	13,491	16.2	16,836	18,066	15.7	31,700	16.1	31,558	15.9	16,580	15,498	16.5	19,219	19,701	17.2	35,800	16.9	35,200	16.9
その他	(9.4)	(△25.6)		(△8.3)	(△12.6)		(0.8)		(△20.0)		(△39.5)	(73.7)		(22.7)	(△137.2)		(△12.1)		(△25.3)	
	1,781	1,704	2.0	1,403	1,510	1.3	3,185	1.6	3,214	1.6	1,077	2,961	3.2	1,722	△561	△0.5	2,800	1.3	2,400	1.2
合計	(1.7)	(3.3)		(9.2)	(7.9)		(5.4)		(6.0)		(4.4)	(12.6)		(10.1)	(△0.9)		(7.3)		(4.7)	
	96,637	83,205	100.0	100,850	115,364	100.0	197,488	100.0	198,569	100.0	100,934	93,661	100.0	111,065	114,338	100.0	212,000	100.0	208,000	100.0
	金額		金額		通期増減額				金額		金額		通期増減額							
手持残高	110,182		95,868		△490				105,078		100,405		4,536							

1. ( )内は、前年増減率を示す。 2. 手持残高は、未発注・未仕入・仕掛品の合計で示す。

# 参考資料4. 米州：製品別売上高（ODC）



## 《 ODC Group 業績 》

(千ドル・%)

	2018年度						2019年度						
	上期		下期		通期		上期(実績)		下期(予想)		通期(予想)		
	売上	売上比	売上	売上比	売上	売上比	売上	売上比	売上	売上比	売上	売上比	
製品別売上高	ドア	(7.9) 374,918	72.9	(0.2) 394,944	72.8	(3.8) 769,862	72.9	(0.9) 378,338	73.8	(9.9) 433,861	70.1	(5.5) 812,200	71.7
	開閉機	(9.5) 96,527	18.8	(9.5) 104,347	19.2	(9.5) 200,875	19.0	(0.7) 97,211	19.0	(29.2) 134,788	21.8	(15.5) 232,000	20.5
	自動ドア	(9.6) 42,505	8.3	(0.8) 43,361	8.0	(5.0) 85,867	8.1	(△12.5) 37,206	7.3	(16.7) 50,593	8.2	(2.3) 87,800	7.8
売上高	(8.3) 513,951	100.0	(1.9) 542,654	100.0	(4.9) 1,056,605	100.0	(△0.2) 512,755	100.0	(14.1) 619,244	100.0	(7.1) 1,132,000	100.0	
営業利益	(16.3) 32,123	6.3	(△6.5) 47,439	8.7	(1.6) 79,563	7.5	(△23.6) 24,553	4.8	(35.8) 64,446	10.4	(11.9) 89,000	7.9	
経常利益	(15.0) 30,118	5.9	(△10.2) 44,145	8.1	(△1.4) 74,263	7.0	(△29.5) 21,239	4.1	(39.9) 61,760	10.0	(11.8) 83,000	7.3	
親会社株主に帰属する 当期純利益	(27.6) 21,486	4.2	(△28.2) 20,432	3.8	(△7.5) 41,918	4.0	(△27.5) 15,580	3.0	(132.1) 47,419	7.7	(50.3) 63,000	5.6	

1. ( )内は前年増減率を示す。

2. 2019年度より「施工サービス部門」と「車両ドア部門」を「ドア部門」に含めて表示。

# 参考資料5. 欧州：製品別売上高（NF）



《NF Group 業績》

(千ユーロ・%)

		2018年度						2019年度					
		上期		下期		通期		上期(実績)		下期(予想)		通期(予想)	
		売上比	売上比	売上比	売上比	売上比	売上比	売上比	売上比	売上比	売上比		
製品別 売上高	ヒンジドア	(7.7) 74,699	27.0	(8.5) 79,692	27.6	(8.1) 154,391	27.3	(3.9) 77,587	26.4	(2.2) 81,412	28.0	(3.0) 159,000	27.2
	ガレージドア	(5.4) 81,557	29.5	(3.9) 82,018	28.4	(4.7) 163,575	28.9	(3.2) 84,190	28.6	(3.4) 84,809	29.2	(3.3) 169,000	28.9
	産業用ドア	(18.4) 120,048	43.4	(15.4) 127,053	44.0	(16.8) 247,102	43.7	(10.4) 132,554	45.0	(△2.1) 124,445	42.8	(4.0) 257,000	43.9
売上高		(11.3) 276,304	100.0	(10.0) 288,765	100.0	(10.7) 565,069	100.0	(6.5) 294,332	100.0	(0.7) 290,667	100.0	(3.5) 585,000	100.0
営業利益		(33.9) 10,136	3.7	(28.1) 19,358	6.7	(30.0) 29,495	5.2	(7.3) 10,878	3.7	(△1.2) 19,121	6.6	(1.7) 30,000	5.1
経常利益		(42.5) 9,560	3.5	(30.2) 18,707	6.5	(34.1) 28,268	5.0	(9.8) 10,497	3.6	(△1.1) 18,503	6.4	(2.6) 29,000	5.0
親会社株主に帰属する 当期純利益		(2.2) 6,543	2.4	(32.3) 13,209	4.6	(20.5) 19,752	3.5	(2.5) 6,708	2.3	(0.6) 13,291	4.6	(1.3) 20,000	3.4

1. ( )内は前年増減率を示す。

# 参考資料6. 主要経営指標



(百万円、%)

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度 予想
売上高 (百万円)	265,913	311,957	339,045	365,615	353,922	385,673	409,990	425,000
営業利益 (百万円)	14,174	20,649	26,334	26,870	26,440	28,322	31,593	34,000
親会社株主に帰属する純利益 (百万円)	7,182	10,161	12,857	14,627	17,070	18,280	20,910	22,000
売上高営業利益率 (%)	5.3%	6.6%	7.8%	7.3%	7.5%	7.3%	7.7%	8.0%
ROE：純利益/純資産 (期首・期末平均) (%)	7.9%	9.6%	10.7%	11.4%	12.7%	12.7%	13.5%	13.5%
自己資本比率 (期末) (%)	40.1%	40.4%	39.1%	41.7%	43.0%	45.2%	47.4%	47.4%
期末純資産 (百万円)	97,134	113,956	126,748	130,334	139,906	151,121	161,604	168,166
期末総資産 (百万円)	241,771	281,917	323,327	310,269	323,393	331,686	338,432	350,854
期末有利子負債 (百万円)	60,799	69,153	88,484	70,798	74,739	65,945	61,217	63,300
DELシオ：有利子負債/純資産 (倍)	0.63	0.61	0.70	0.54	0.53	0.44	0.38	0.38
SVA(Sanwa Value Added) (百万円)	1,870	5,410	7,770	8,290	8,057	9,026	12,693	13,720
EPS：1株純利益 (円)	29.9	42.4	54.1	63.1	74.6	80.9	92.9	97.8
発行済株式数(期中平均) (千株)	239,961	239,768	237,694	231,923	228,782	225,761	224,979	224,979

(注) 1. SVAは当社独自方式のEVA的数値。

# 参考資料7. 設備投資額と減価償却費



《連結の設備投資額と減価償却費》

(百万円)

	2017年度		2018年度		2019年度 (見通し)	
	上期	通期	上期	通期	上期(実績)	通期(見通し)
<b>設備投資額</b>	<b>4,248</b>	<b>11,383</b>	<b>6,818</b>	<b>12,367</b>	<b>3,550</b>	<b>8,900</b>
三和ホールディングス	805	2,221	117	222	119	200
三和シャッター工業	1,231	2,705	1,086	2,003	828	2,100
国内連結子会社	97	653	227	360	142	300
為替レート ( )内は千ドル表示	112.14 (\$13,923)	112.04 (\$30,154)	108.50 (\$19,573)	110.36 (\$36,048)	109.97 (\$15,762)	105.00 (\$32,380)
ODCグループ	1,561	3,378	2,123	3,978	1,733	3,400
為替レート ( )内は千ユーロ表示	122.22 (€4,526)	127.22 (€19,058)	130.65 (€24,976)	130.01 (€44,642)	124.07 (€5,790)	120.00 (€21,666)
Novofermグループ	553	2,424	3,263	5,803	718	2,600
中国/アジア連結子会社	-	-	-	-	8	300
<b>減価償却費</b>	<b>4,373</b>	<b>9,225</b>	<b>4,637</b>	<b>9,498</b>	<b>5,126</b>	<b>10,375</b>
三和ホールディングス	230	474	264	532	262	530
三和シャッター工業	778	1,758	912	1,981	880	2,100
国内連結子会社	107	230	159	333	185	380
	(\$14,145)	(\$28,791)	(\$14,094)	(\$29,019)	(\$15,482)	(\$33,333)
ODCグループ	1,586	3,225	1,529	3,202	1,702	3,500
	(€7,305)	(€15,198)	(€7,576)	(€15,371)	(€10,783)	(€20,000)
Novofermグループ	892	1,933	989	1,998	1,337	2,400
中国/アジア連結子会社	-	-	-	-	39	90
のれん償却額	777	1,603	781	1,449	717	1,375

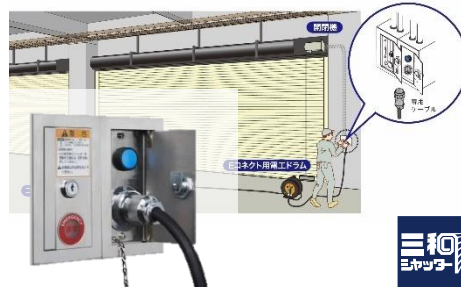
# 参考資料8. トピックス



2019年5月  
スリムフロント「外美(ソトミ)」を発売



2019年7月  
シャッター開放用電源供給システム  
「エコネット」を発売



2019年9月  
株式会社LIXIL鈴木シャッターの  
株式取得完了



2019年10月  
社員の近谷涼選手が  
アジア自転車競技選手権大会  
“4km団体パーシュート”で優勝



2019年5月

2019年5月  
Robust AB(スウェーデン)  
の株式取得



2019年5月  
“National Ribbon  
Distributor Meeting”を開催



2019年7月  
スマートガレージ開閉機 “Smart  
home systems” を発売



2019年9月  
高速断熱シートシャッター  
“Rapid Freeze 997” を発売

